

四天王寺大学同窓会 助成制度スタート!

Alumni association subsidy system



文学部 教育学科
1期生 社会・算数ゼミ合同 同窓会

幹事:鈴木 正明(1984年度 卒業)



人文社会学部人間福祉学科
保育専攻 卒業10年目!!同窓会

幹事:志手 美菜(2013年度 卒業)



IBUバスケ部 同窓会



四天王寺国際仏教大学文学部教育学科の1期生(昭和56年入学)の社会科ゼミと算数科ゼミの合同で同窓会を開催しました。卒業して40年を数え、参加者の全員が還暦オーバーとはいうものの、皆、学生時代を彷彿とさせる活躍ぶりでした。楽しい時間はあっという間に過ぎるもので、予定の終了時間をオーバーし、最後にまたの再会を約束しておひらきとなりました。今回、同窓会の活動補助制度を利用させていただきましたが、このような楽しい時間を過ごすことができ、一同感謝の念に堪えません。本当にありがとうございました。

卒業後四半世紀が経過し、当時のバスケットボール部メンバーがアラフィ一代となった今、「会えるうちに集まろう!」ということで、「バスケ部同窓会」を企画し、最終的には総勢60名越えの当時のメンバーとつながることができました。当日は27名が参加し、みんな良い大人になりましたが、会話を始めるとたちまち学生時代にタイムスリップしたかの様に無邪気に大笑いして盛り上がりました。同窓会の最後には、この集まりを毎年恒例行事にし、機会があれば大学のきれいになった体育館でバスケをしたいねと話しました。

寄付金情報 Donation information

教育研究活動の活性化ならびに 教育環境の整備推進事業の 寄付金募集について

寄付金用途

教育研究活動の活性化ならびに教育環境の整備推進事業資金の一部

募集対象

在学生の保護者、卒業生、教職員、その他本事業に賛同いただける全国の個人及び企業・法人など

寄付金額

個人・法人(企業)…1口1万円(1口以上)

※1口未満のご寄付もありがたくお受けいたします。※寄付金は個人・法人(企業)を問わず、法規に基づいた所定の手続きにより、寄付金控除の対象となります。

銀行振込みの場合

同封の振込用紙(寄付申込書を兼ねています)によりお振込みください。なお三井住友銀行、ゆうちょ銀行(郵便局)からのお振込みの場合は、振込手数料は不要です。

※この寄付金は税制上の優遇措置が受けられます。優遇措置の詳細やクレジットカードを利用した寄付申込方法等については、四天王寺大学ホームページ「大学へのご寄付について」をご覧ください。

寄付金のお申し込み方法

本学では多くの皆様から、幅広くご寄付を募ることを目的とし、銀行振込とクレジットカードを利用した募金を受付しています。

ご寄付について

<https://www.shitennoji.ac.jp/about/donation/>

お問い合わせ

四天王寺大学事務局経理課
TEL. 072-956-9937(直通) FAX. 072-956-9894
E-mail. keiri@shitennoji.ac.jp

四天王寺大学同窓会公式ホームページ



「IBU NEWS」のバックナンバーは
WEBからもご覧いただけます!

◀ QRコードからアクセス!



同窓会公式Facebook開設しました!



同窓会活動や在学生の活躍など
最新情報をお届け!
ぜひフォローください!



IBU 四天王寺大学
四天王寺大学短期大学部

〒583-8501 大阪府羽曳野市学園前3丁目2-1
TEL.072-956-3181(代表) TEL.072-956-3183(入試・広報課直通)
E-mail. nyushi@shitennoji.ac.jp

四天王寺大学

検索

<https://www.shitennoji.ac.jp>

四天王寺大学の“今”がわかる!

IBU NEWS

2024 NO.38

NEWS インタビュー

保育士

岡村 里咲さん

短期大学部 保育科
(2019年3月卒業)



第65回 IBU祭

11月3日(日・祝)

同窓会総会

ホームカミングデー

IBU 四天王寺大学
四天王寺大学短期大学部

令和6年能登半島地震災害支援
世界遺産百舌鳥・古市古墳群
5周年イベントに協力
羽曳野市初の音楽フェス
「HABIKINO SONIC」開催!

経験

授業で印象に残っているのは、ピアノと音楽の授業。保育実習では保育所でピアノを弾くことがあります。私が奏てるメロディーに添って楽しんで歌う子どもたちがとても可愛く、あの時の一体感は忘れられません。ピアノや音楽は子どもの感性を育てる大切なツールなので現在の保育現場でもとても活かすことができています。そのほか入職後の保育現場を想定した模擬保育では、クラスメイトと一緒にペーパーサポートを作るなどチームワークも育むことができます。

実践的な保育とグループワークを通じて、一人ひとりが意見を出し合い、仲間とともに学んでいく楽しさが私の夢を後押ししてくれました。

また、課外活動では在学生約400人が所属する学生運営委員会に所属し、短大副委員長としてオープンキャン

パスの運営や水無月祭や大学祭の企画・運営に携わり、学部や学年の垣根を超えて、一緒に企画を盛り上げた経験は青春時代の宝物です。初めての組織運営で苦労の連続でしたが、振り返ると自分自身の変化と成長につながる人生のターニングポイントでした。

バスの運営や水無月祭や大学祭の企画・運営に携わり、学部や学年の垣根を超えて、一緒に企画を盛り上げた経験は青春時代の宝物です。初めての組織運営で苦労の連続でしたが、振り返ると自分自身の変化と成長につながる人生のターニングポイントでした。

バスの運営や水無月祭や大学祭の企画・運営に携わり、学部や学年の垣根を超えて、一緒に企画を盛り上げた経験は青春時代の宝物です。初めての組織運営で苦労の連続でしたが、振り返ると自分自身の変化と成長につながる人生のターニングポイントでした。

子ども達は何を思って、喧嘩が起ったのか。しっかりと子ども達の話に寄り添つて、背景までをしつかり聞いてあげること。大人である保育士が心の扉を開くことで信頼関係につながり、子ども達が健やかな成長へと繋がっていきます。

保育所へ入職後も高校と大学との繋がりは続き、四天王寺大学は私の出身校である桜井高校と高大連携協定を結んでいて、毎年2回、先生が桜井高校へ出張授業を行っています。私は身も3年間、桜井市の公立園で働く保育士として母校に出張授業に出向き、後輩となる高校生にキャンバスマッチや現在のお仕事など自分のリアルな体験談をお話させていただきました。授業を通じて一人でも多くの生徒に保育と幼児教育へ興味をもつていただき、微力ながらも母校へ恩返しできればと思っています。

保育士としての目標は、子ども達一人ひとりの希望を見出すこと。そのためには日々、児童一人ひとりの善さに気づき、認め、可能性を引き出すことを意識して、子ども達と向き合っていくことです。子どもたちの可能性は無限であり、保育所で一緒に過ごした子どもたちが将来どのように成長していくかは想像がつきませんが「保育所・幼稚園の先生になりたい」と思う子どもが増え、そのキッカケが私であれば尚更うれしいです。またプライベートの目標は何事も挑戦すること。海外への関心もあるため、旅行を通じていろんな国や文化にも触れてみたいですね。目標に向かってチャレンジする人は自然と生き生きしていて、子ども達にとっても良い影響に。そんなキラキラと輝く保育士になっていきたいです。



大募集!

同窓生やお店を紹介したい!
自薦・他薦を問わず大募集!!

同窓会事務局(入試・広報課)までメールお待ちしています!

✉ nyushi@shitennoji.ac.jp

生まれ育った奈良県桜井市で
幼い頃からの夢だった保育士に。
心の通う保育士として
子どもに笑顔を、保護者に安心を。

インタビュー

桜井市立第2保育所 保育士

岡村 里咲さん

短期大学部 保育科
(2019年3月卒業)

PIGLET and POOH

幼い頃からの夢だった保育士になり、
地元の桜井市へ恩返しを。

生まれも育ちも桜井市で、幼稚園から高校まで桜井市で過ごしました。母が保育士のため、幼い頃から保育士に興味が湧き、また地元への愛着も強いため「将来は地元で保育士になりたい」という夢を抱くようになりました。高校生の時に進路を考える際に、四天王寺大学のオープンキャンパスに参加し、大学の規模感、華やかで活気のある雰囲気、充実したカリキュラムなどに惹かれて入学しました。いざ大学生活が始まると先生方は丁寧に指導してくださいり、授業と実習、公務員試験に向けた対策などあらゆる場面でサポートしていただきました。



INTERVIEW



ができます。そのほか入職後の保育現場を想定した模擬保育では、クラスメイトと一緒にペーパーサポートを作るなど

チームワークも育むことができました。実践的な保育とグループワークを通して、一人ひとりが意見を出し合い、仲間とともに学んでいく楽しさが私の夢を後押ししてくれました。

また、課外活動では在学生約400人が所属する学生運営委員会に所属し、短大副委員長としてオープンキャン



日々、学びと挑戦で
キラキラと輝く保育士へ

**三千院の歴史と
最澄の精神を継承し
天台宗を後世に。**

文学部仏教学科
1991年3月卒業
三千院執事長
若林 節哉さん

天台宗の精神と文化を継承し、明るい未来へ。

天台宗の住職になって30年以上が経ち、昨年10月に京都大原三千院の執事長を拝命しました。大原は都の喧騒から離れた隠れ里として、平安時代から仏教修行に適した場所と考えられてきた歴史があり、現在は40数名の職員とともに1200年の歴史と培った精神を後世に繋いでいます。

学生時代を振り返って思い出すのは学生運営委員会での活動です。大学祭の準備がメインで企画書や資料づくりに骨を折りましたが、その経験は今でも役に立っています。当時はバザーの企画も任され、刑務所の被収容者が製作した商品を委託販売するなど貴重な体験も。また、バザー協賛金を当時はあまり世間の関心がなかったハンセン病対策に寄付した際には、関係団体より大変感謝されたことが思い出されます。

天台宗の教えには「一隅を照らす、これすなわち国宝なり」という天台宗の開祖・最澄の精神があります。一人ひとりが自ら光となり、自分のいる場所を照らしていくことこそ私たちの役目であり、お互いの助けと導き合いが重なればこの世全体が照らされるという意味です。グローバル化が進展する今、国境を越えた人や文化の交流は盛んになっています。次代を築く若い方々は世界へと羽ばたいていきますが、舞台は変わらず最澄の精神は必ず活かされることでしょう。

私は同窓会の副会長を務めていますが、四天王寺大学の同窓生もどんどん増えており、今後も同窓生の皆様とともに知恵とアイデアを集め、若い世代を応援していきます。

INTERVIEW 01



延暦年間に伝教大師最澄が比叡山東塔南谷の山梨の大木の下に一宇を構えたことに始まる。明治維新後、現在の地大原に移り「三千院」として1200年の歴史を紡ぐ寺院。



四天王寺大学の活動やイベントなど、「今」を伝える最新情報をご紹介！

01 令和6年能登半島地震災害支援

令和6年1月1日(月)、「令和6年 能登半島地震」が発生し、地震災害の犠牲になられた皆様に対しまして深く哀悼の意を表しますと共に、負傷された方および被災、避難された方、そのご家族・関係者の皆様に、心よりお見舞い申し上げます。

令和6年3月17日から3月28日の期間に、本学の学生計19名が令和6年能登半島地震災害支援ボランティアに参加しました。被災地では、主に避難所における環境整備や健康相談、感染予防対策の実施や健康体操の企画運営などを実施しました。ボランティア活動には本学大学院生も参加し、避難所運営に携わることで、生活再建上の課題を抽出したり、支援計画を作成・実施したり、自治体や保険医療調整本部との連携を図りました。ボランティア活動に参加した看護学部4年生は、「被災地に着くと剥き出しになったマンホールやガラスのない窓、崩壊した家、崩れた縁石など、街の風景は地震から3ヶ月経っているとは思えない状態であった。ボランティア活動を通じて避難所に必要なことを考えることができた。そして、人のために尽くせるような看護師になりたいと強く思うことができた。」と感想を述べました。一日も早い被災地の復旧・復興を心からお祈り申し上げます。



ボランティア活動に 参加する学生への 支援金

本学学生19名が被災地となる石川県へ支援ボランティアとして参加し、活動支援金として1名あたり2万円を同窓会より支給しました。

災害復興 義援金

被災された方々の一日も早い復旧に向けた支援活動に役立てていただきことを目的に、2月26日(月)、読売新聞社を母体とする社会福祉法人「読売光と愛の事業団」を通じて50万円を義援金として同窓会より寄附しました。

同窓生の**今**を知る — GRADUATES INTERVIEW —

INTERVIEW 02

**四天王寺大学での
すべての出会いが
私たちの宝物。**

経営学部 経営学科 公共経営専攻

2020年3月卒業

総務省・地方公共団体金融機構

吉村 知泰さん



学生運営委員会で出会いました！

四天王寺大学で過ごした私たちの青春時代。二人にとって一番の思い出は大学祭です。学生運営委員会に所属していた私たちは当時、お互いの所属する班において副班長を任せられていたので、企画から準備に至るまでそれぞれ頑張っていた記憶があります。普段は関わらない学部の人をはじめ、先輩後輩・大学職員・教授など様々な関係者が垣根を越えて大学一丸となって作り上げる大学祭はやりがいのある行事で、今も特別な青春の思い出です。

「その先の人生を決める」と言っても過言ではない就職については、担任の先生やキャリアセンターの職員の方々に親身になって相談に乗っていただきまし

た。おかげさまで納得のいく進路を決めることができ、私は総務省の外郭団体である地方公共団体金融機関へ、地方公共団体に対して長期かつ低利の資金を融通し、資本市場からの資金調達などに関する支援を実施する組織の経理を担当しています。

一方で妻は公立の認定こども園にて保育教諭に。3歳児の担任をしながら、園内生活やイベントを通じて子ども同士で関わり、成長していく姿を見ることに大きなやりがいを感じていました。

同じ学科で出会った同じ目標を持つ友人は今となっても特別であり、普段の授業から就職活動に至るまで大切な時間をともに過ごしました。現在も大学時代の友人とはつながっており、四天王寺大学でのすべての出会いが今も私たちのかけがえのない宝物です。

かけがえのない
出会いが沢山！



02 百舌鳥・古市古墳群 世界遺産登録5周年記念イベントに協力



令和6年7月6日(土)・7日(日)に、あべのハルカスウエルカムガレリアにて、「百舌鳥・古市古墳群世界遺産登録5周年記念イベント みんなでもずぶる5周年をお祝いしよう！」を開催しました。イベント当日には、お祝いに駆け付けたお笑いコンビの「笑い飯」と、本学文学部日本学科講師で考古学研究者の辰巳俊輔先生、そして本学教育学部の学生が、「古墳っておもしろい！」と題し、古墳に関する知識を深めるトークショーを行いました。トークショーで、笑い飯のお2人と教育学部の学

生が着用していた「貴頭衣」は、本学短大ライフデザイン学科の学生が制作しました。

また、イベントでは教育学部の学生が作詞作曲、振り付けを考案した「古墳音頭」も披露。最後にはイベントに来場したたくさんのお子様も舞台に上がり一緒に古墳音頭を楽しむ場面もあり、会場が一体となりました。また、イベントには本学の公式マスコットキャラクター「はにぶー」などゆるきやらも駆けつけるなど、楽しいイベントになりました！

03 羽曳野市初の音楽フェス 「HABIKINO SONIC」開催！

令和6年4月14日(日)に羽曳野市初の音楽フェス「HABIKINO SONIC」を開催しました。今回、産学連携を通じた地域活性化の一環として、羽曳野市に本社を置く株式会社篠原陸運が主催（協賛企業：チョーヤフーズ株式会社、後援：大阪はびきの観光局）し、広大なトラックターミナルをフェスの会場として開催。本学から吹奏楽部、コーディーンズ同好会やコーラス部、フォークソング部などたくさんの学生によるパフォーマンスに加え、地元のダンススクールやバンド演奏などのパフォーマンスを披露。当日のイベント運営も本学学生が実施しました。当日は約600名が来場し、会場に出店したキッチンカードの飲食とともに音楽を楽しみました。



04 ソフトボール部男子 全国大会出場決定！



ソフトボール部男子が、令和6年5月11日よりおこなわれた全日本大学選手権大会近畿地区予選をみごと勝ち抜き「第59回全日本大学選手権大会(全日本インカレ)」への出場権を獲得しました。入学して間のない新入生の活躍と、これまで鍛え上げてきた上級生の実力が見事に融合し並み居る強豪に打ち勝ち、全国への切符を手にすることできました。選手権大会は富山県富山市で9月7日(土)より開催されます。7年ぶり7回目の出場となる今回は、過去のベスト8を上回る成績をめざします。皆さん、選手たちの熱い戦いをご期待ください。

と、これまで鍛え上げてきた上級生の実力が見事に融合し並み居る強豪に打ち勝ち、全国への切符を手にすることできました。選手権大会は富山県富山市で9月7日(土)より開催されます。7年ぶり7回目の出場となる今回は、過去のベスト8を上回る成績をめざします。皆さん、選手たちの熱い戦いをご期待ください。



SCHEDULE

11/3日・4月・5火

2024年11月3日(日・祝)～5日(火)の3日間、第65回大学祭(IBU祭)を開催いたします。テーマは「煌～こう～」。大学祭運営委員会が中心となり、在学生によるステージパフォーマンス、屋台、企画展示、子ども広場など、たくさんのイベントを準備しております。また各日程、アーティストやお笑い芸人の方々にお越しいただくステージイベントもございます。同窓生をはじめ、地域の皆様や子どもたちのご来場をお待ちしております。

※公共交通機関をご利用の上、お越しください。



11/3日祝 Special Live
シンガーソングライター
Tani Yuukiさん

1998年生まれ。神奈川県・茅ヶ崎出身。中学生時代に祖父からアコースティックギターをもらったことをきっかけに音楽活動を開始。5thシングル「W/X/Y」は、TikTokでの総再生回数は10億を超える音楽配信サービスでもチャートを席巻し、日本で最も聴かれている楽曲となった。優しさと切なさを帶びた比類なき歌声で、日常に在る恋愛の思い悩みを独特の語感で紡ぎ出す、デジタルネイティブ世代が注目するシンガー・ソングライター。

SCHEDULE
11/3
日祝

2024年度 第14回 四天王寺大学同窓会 「ホームカミングデー」「同窓会総会」を開催

2024年11月3日(日・祝)の第65回大学祭(IBU祭)と同日、第14回 四天王寺大学同窓会総会、ホームカミングデーを開催いたします。

恩師との再会や旧友とも仲を温め、先輩と後輩が語り合える交流サロンを開催します。たくさんの卒業生の皆様とお会いできることを楽しみにしております。



お問い合わせ 同窓会事務局(入試・広報課) TEL. 072-956-3183

WEB
サイト **四天王寺大学 同窓会公式サイト**
https://www.shitennoji.ac.jp/about/grad_ass/



四天王寺大学同窓会
会長 森田 貴夫

会長からのお挨拶

2024年の新年早々、石川県能登地方での地震、火災などショッキングな出来事が立て続けに発生しました。お亡くなりになられた方々に謹んでお悔やみを申し上げますとともに、被災されました皆様に心からお見舞い申し上げます。また、被災者の救済と被災地の復興支援のためにご尽力されている方々に深く敬意を表します。私たち四天王寺大学同窓会では、被災地出身の在学生や現地で生活している同窓生もおり、一日も早い復旧・復興に向けた支援活動に役立てて頂くため、被災地へ災害復興義援金を寄附しました。また支援ボランティアとして被災地へ赴いた後輩在学生にも活動支援金を支給しました。皆様の安全と被災地の一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。さて、今年の秋も大学祭(IBU祭)にて同窓会総会、ホームカミングデーの開催を予定しています。皆様にお会いできる日を楽しみにしています。



四天王寺大学
四天王寺大学大学院
四天王寺大学短期大学部
学長 須原 祥二

学長からのお挨拶

2024年4月、本学は5学部7学科へと進化を遂げました。人文社会学部から文学部と社会学部に分け、学生一人ひとりの個性や適性に合った学びを提供します。また教育学部は、関西私大の教育学部では初めて中高理科・数学の教員免許課程認定を取得しました。また、地元自治体や企業・団体、学校等と連携したサービスラーニングやフィールドワークを通して、学生の目標ならではのアイデアや提案など、さまざま

な産官学連携活動から多様な課題解決を経験しています。今の自分から一步前に踏み出して、多くの人、モノ、コトと出会い、協働しながら新しい視点を得ると同時に、全人的成長をうながす学びを通じて、不確実な時代を生き抜く力を身につける教育を取り組んでまいります。今後とも同窓会活動に対するご支援を賜ります様、何卒よろしくお願い申し上げます。

2023年度の主な事業内容

4月

- 新入生に記念品贈呈【記念品贈呈事業】
- 学生100円朝食補助(夏学期分)
【100円朝食支援】

5月

- 教育・研究活動等支援
【教育・研究活動等支援事業】
〔課外活動支援〕

6月

- 同窓会役員会開催【同窓会総会等開催事業】
〔案件:事業報告・事業計画 等〕

7月

- 在学生への支援【奨学金事業(奨学生)】
大学4名、短大1名 計5名 150万円(年間)

9月

- 同窓会会報誌(IBU-NEWS)発行・送付
【同窓会会報発行事業】
- 学生100円朝食補助(冬学期分)
【100円朝食支援】

11月

- 同窓会総会開催
【同窓会総会等開催事業】
〔案件:事業報告・事業計画、令和5年度会計報告等〕
- ホームカミングデー、懇親会の開催
【同窓会総会等開催事業】

3月

- 卒業生に記念品贈呈【記念品贈呈事業】
- 在学生への支援【団体報奨金(会長表彰)】
- 令和6年能登半島地震災害支援
〔災害復興支援〕

その他母校の発展に寄与する事業

同窓会事業報告

○学生のための生活支援品を寄贈



2024年3月14日(木)、理事長をはじめ学長等の出席のもと、学位授与式が行われ、栄えある学位を授与され、祝福されました。同窓会からは副会長の原田一臣氏が祝辞を述べ、新しい旅立ちを迎えた後輩たちをお祝いしました。また同窓会から記念品として卒業生全員に学位記カバーを贈りました。同年4月1日(月)には入学式が行われ、同窓会を代表して同じく副会長の原田一臣氏から新入生への記念品として恒例の念珠を贈呈しました。



○100円朝食を引き続き実施



今年で8年目となる「100円朝食」の取り組みは、勉学・課外活動へ挑戦できる環境づくりを応援したいと、メニューは朝から学習に集中できるよう炭水化物をメインに、栄養バランスのとれた献立を日替わりで提供しています。利用学生からは「授業開始前の時間を有効的に活用でき、なおかつ100円で利用でき本当に助かっています!」などの声があり、大変好評です。

○同窓会報奨金給付式



2023年度の課外活動において顕著な活動をした3団体に対し、四天王寺大学同窓会より表彰状と報奨金が授与されました。「和太鼓部」は、多くの自治体や企業から出演依頼を頂くまでに発展し、年には「和太鼓部定期演奏会」では150名を動員し、大成功を収めました。「吹奏楽部」はコロナ禍で部員不足に陥りましたが、初心者でも吹奏楽の楽しさを感じることができますよう活動を工夫し、積極的に「ハルカス大学祭」などの学外イベントに参加し、躍進の機会を増やしています。「茶道部」も部員不足に陥りましたが、部員を中心に積極的に部員募集をつけ、学内イベントや海外留学生などに向けた茶道体験イベントの企画・開催を通じ、日本文化の魅力を発信しました。3団体の皆さんには、今後の益々の活躍を期待します。

同窓会活動報告はこちらから▶

QRコードからアクセスしてWEBでご覧いただけます。

